



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 515

初版 平成 6 年 7 月 5 日

改訂 平成 21 年 10 月 1 日

管理番号：153466-5

# Product Safety & Regulatory Affairs

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品コード： 153466  
製品名： **Loctite 515**  
会社名： ヘンケルジャパン株式会社  
住所： 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲  
電話番号： 045-758-1820 (ヘンケル技術センター コールセンター)  
ファックス番号： 045-758-1826 (ヘンケル技術センター コールセンター)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

皮膚腐食性 / 刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分1
生殖毒性	区分1B
水生環境有害性(急性)	区分2

\* 記載のないものは分類対象外または分類できない

### GHS ラベル要素：

#### 絵表示



### 注意喚起語

#### 危険

### 危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

水生生物に毒性

### 予防策

保護手袋を着用すること。取扱い後はよく洗うこと。

保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 515

初版 平成 6 年 7 月 5 日

改訂 平成 21 年 10 月 1 日

管理番号：153466-5

## Product Safety & Regulatory Affairs

(必要な時以外は)環境への放出を避けること。

### 対応

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。特別処置が緊急に必要である。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。

暴露した場合：医師に連絡すること。特別処置が緊急に必要である。

暴露した時、または、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。

### 保管

施錠して保管すること。

### 廃棄

内容物/容器を(国際/国/県都道府県/市町村の規則に従って)適切に廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

分類の名称： 分類基準に該当しない

物理的及び化学的危険性： 僅かに引火性がある

人の健康に対する有害性： 眼及び皮膚を刺激することがある。皮膚の敏感な人が長時間若しくは繰り返し接触すると炎症を起こす恐れがある。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物

化学特性： 嫌気性接着剤

危険有害成分及び濃度

成分	w t %
ウレタンメタクリレート樹脂	70~80
ポリグリコールジメタクリレート	10~20
シリカ*	1~10
アクリル酸*	4.2
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	2.6
サッカリン	1~10
エチレングリコール*	0.3~1



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 515

初版 平成 6 年 7 月 5 日

改訂 平成 21 年 10 月 1 日

管理番号：153466-5

# Product Safety & Regulatory Affairs

\* 労働安全衛生法通知対象物質

## 4. 応急処置

皮膚にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。

吸入した場合：空気の清浄な場所に移す。

異常がある場合は医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火方法：火元への燃焼元を絶ち、適切な保護具（耐火服、手袋、自呼吸式マスク）を着用し指定消火器を使用して風上から作業する。燃焼時に発生した蒸気は吸入しないようにする。

消火剤：炭酸ガス、泡、粉末又は、水噴霧

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：直ちに換気を行う。付近の着火源・高温体及び可燃物を素早く取り除く。少量の場合は、紙タオルやウエス等で拭き取る。

環境に対する注意事項：下水等に流れ出ないように流出防止を図る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策：保護具を着用し眼や皮膚に接触しないよう又、蒸気の吸入を避ける。

注意事項：通常換気

安全取扱注意事項：特になし。

保管 技術的対策：一度使用した液は容器に戻さない。

保管条件：直射日光の直射を避け、通風のよいところに保管する。

又、消防法に基づいて適切に保管する。

容器包装材料：現容器にて保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

保護具：保護手袋（ゴム又はプラスチック製）安全眼鏡又は、ゴーグル。



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 515

初版 平成 6 年 7 月 5 日

改訂 平成 21 年 10 月 1 日

管理番号：153466-5

## Product Safety & Regulatory Affairs

### 9 . 物理的及び化学的性質

外観：	紫色ジェル状	燃焼又は爆発範囲：	データ無し
臭い：	刺激臭	蒸気圧：	1.33kPa ( 10mmHg ) 未満
pH：	データ無し	蒸気密度：	データ無し
融点/凝固点：	データ無し	比重：	1.1
沸点：	148 以上	溶解性：	水に難
引火点：	93 以上	オクタノール/水分配係数：	データ無し
自然発火温度：	データ無し	分解温度：	データ無し

### 10 . 安定性及び反応性

安定性：	通常の使用においては安定。
特定条件下で生じる危険な反応：	特に無し
危険有害な分解生成物：	データ無し

### 11 . 有害性情報

局所効果： 短期暴露した場合、眼に強い刺激性がある。皮膚に低刺激性がある。吸入した場合気道等刺激する可能性がある。反復又は長時間皮膚に接触すると皮膚の過敏な人などは、炎症を起こす事がある。

#### 原料情報

#### 急性毒性 - 経口

アクリル酸 区分 4

#### 急性毒性 - 経皮

アクリル酸 区分 3

#### 急性毒性-吸入(蒸気)

アクリル酸 区分 3

#### 急性毒性-吸入(粉塵、ミスト)

アクリル酸 区分 4

#### 皮膚腐食性 / 刺激性

アクリル酸 区分 1A

#### 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

アクリル酸 区分 1

エチレングリコール 区分 2B

#### 生殖毒性

エチレングリコール 区分 1B

#### 特定標的臓器 / 全身毒性 ( 単回暴露 )

アクリル酸 区分 1(呼吸器)、区分 2(肝臓)



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 515

初版 平成 6 年 7 月 5 日

改訂 平成 21 年 10 月 1 日

管理番号：153466-5

# Product Safety & Regulatory Affairs

特定標的臓器 / 全身毒性 ( 反復暴露 )

アクリル酸

区分 1(呼吸器)

## 1 2 . 環境影響情報

現時点でデータ無し

原料情報

水生環境有害性 ( 急性 )

アクリル酸

区分 1

## 1 3 . 廃棄上の注意

都道府県条例に基づき焼却するか、産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。

## 1 4 . 輸送上の注意

UN Number: 無し

IATA : 該当しない

IMO : 該当しない

荷役作業は丁寧慎重に行い、包装容器を破損、転倒しないように取扱う。

取扱いに際しては、必ず保護具を着用して作業する。

そのほか、危険有害性の要約、取扱い及び保管上の注意、安全性及び反応性の項を参照するほか、関係法令の定めるところに従う。

## 1 5 . 適用法令

消防法 : 第 4 類第 3 石油類

労安法 : 名称等を通知すべき有害物 ( アクリル酸、シリカ、エチレングリコール )

PRTR 法 : 第一種指定化学物質 ( 政令番号 4-アクリル酸、政令番号 440-キュメンハイドロパーオキサイド )

毒劇物法 : 該当しない

## 1 6 . その他の情報

参考文献 : 50028-3 120515

JIS Z 7250 : 2005

本 MSDS の内容に関するお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社

製品安全性及び規制業務担当

横浜市磯子区新磯子町 27-7



## 製品安全データシート

製品名 Loctite 515

初版 平成 6 年 7 月 5 日

改訂 平成 21 年 10 月 1 日

管理番号：153466-5

## Product Safety & Regulatory Affairs

Tel: 045-758-1780

Fax: 045-758-1771

作成者 近藤 由紀子

本製品の技術的なお問い合わせ：

ヘンケルジャパン株式会社

技術サービスグループ

横浜市磯子区新磯子町 27-7

Tel: 045-758-1810

Fax: 045-758-1753

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので取扱いには十分注意して下さい。この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。又、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。